

DIALOG(R) File 347:JAPIO  
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

01326553 \*\*Image available\*\*  
ATTACHING FIXTURE OF MICROPHONE FOR VEHICLE

PUB. NO.: 59-038153 A]  
PUBLISHED: March 01, 1984 (19840301)  
INVENTOR(s): ITO YOJI  
HARA KIYOSHI  
TERAURA NOBUYUKI  
APPLICANT(s): NIPPON DENSO CO LTD [000426] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)  
APPL. NO.: 57-148243 [JP 82148243]  
FILED: August 25, 1982 (19820825)  
INTL CLASS: [3] B60R-011/02; B60R-016/02; B60R-021/10  
JAPIO CLASS: 26.2 (TRANSPORTATION -- Motor Vehicles)  
JOURNAL: Section: M, Section No. 305, Vol. 08, No. 140, Pg. 88, June 29, 1984 (19840629)

ABSTRACT

PURPOSE: To enable voice input to be sufficient in a short distance, by enabling a microphone to be removably attached to a predetermined position on a seat-belt so that the microphone is attached in the vicinity of the mouth of a passenger.

CONSTITUTION: A magic tape 5 is attached on the outside of a seat-belt 1 in a predetermined part corresponds to the chest of a driver who takes a seat. The magic tape 5 has a substantial length adapted to various people. Further, the width of the magic tape 5 is equal to that of a magic tape attached to the microphone 3 which is arranged to be attached to a predetermined position in the magic tape 5 on the seat-belt 1 by means of the coupling action between the magic tapes. With this arrangement, the microphone 3 may be attached to in the vicinity of the mouth of the passenger, and therefore, the voice of the driver is accurately delivered into a voice identifying device.

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑮ 特許出願公開  
 ⑰ 公開特許公報 (A) 昭59-38153

⑯ Int. Cl. <sup>3</sup> B 60 R 11/02 16/02 21/10	識別記号 7443-3D 7374-3D 6839-3D	庁内整理番号 7443-3D 7374-3D 6839-3D	⑮ 公開 昭和59年(1984)3月1日 発明の数 1 審査請求 未請求
---	---------------------------------------	---	--

(全3頁)

④ 車両用マイクロホン取付装置

① 特 願 昭57-148243  
 ② 出 願 昭57(1982)8月25日  
 ③ 発明者 伊藤洋二  
 割谷市昭和町1丁目1番地日本  
 電装株式会社内  
 ④ 発明者 原潔

刈谷市昭和町1丁目1番地日本  
 電装株式会社内  
 ⑤ 発明者 寺浦信之  
 割谷市昭和町1丁目1番地日本  
 電装株式会社内  
 ⑥ 出願人 日本電装株式会社  
 割谷市昭和町1丁目1番地  
 ⑦ 代理人 弁理士 岡部隆

明細書

1. 発明の名称

車両用マイクロホン取付装置

2. 特許請求の範囲

車両の乗員の発生する音声を入力するためのマイクロホンに第1の結合手段を設け、また車両の乗員に装着されるシートベルトの所定部分に第2の結合手段を設け、前記第1の結合手段と第2の結合手段との結合作用により前記マイクロホンを前記シートベルトの所定部分に着脱自在に取付可能とするようにした車両用マイクロホン取付装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は車両用の音声認識装置等に用いられる車両用マイクロホン取付装置に関するものである。

従来、上記音声認識装置等に用いられるマイクロホンの取付として、車両のステアリングコラム上に設けるものなど種々のものが提案されているが、これらのものでは運転者の口の位置とマイクロホンとの間の距離がかなりあるため、十分な音声認識を行なうことができないという問題があつ

た。

本発明は上記問題に鑑みたもので、乗員に装着されるシートベルトの適切なる位置(胸の位置)に、マイクロホンを着脱自在に取付可能とすることにより、乗員の口の位置近くにマイクロホンを取付けることができる車両用マイクロホン取付装置を提供することを目的とするものである。

以下本発明を図に示す実施例について説明する。第1図、第2図、第3図は本発明の第1実施例を示すもので、1はシートベルト、2はシートベルト1を内部にて着脱自在に保持するとともにこれらを窓枠部に固定するスリップジョイント、3は音声認識装置(図示せず)に用いられるワイヤレスのマイクロホン、4、5、6は結合手段としてのマジックテープである。第1図はシートベルト1の装着状態を示すもので、マジックテープ5は運転者が着席した時の胸の位置に対応付けてシートベルト1の所定部分の外側に設けられている。また、その長さは多数の人に合うようにある程度の長さを有している。スリップジョイント2の所

に設けられたマジックテープ5は、マイクロホン3に設けられたマジックテープ6と同じ大きさのもので、車両の非運転時等のマイクロホン3を使用しない時に、マジックテープ6と4の結合作用によりマイクロホン3がスリップジョイント2の所に取り付けられるようになっている。また、運転者が着席してシートベルトを装着した後に、音声認識装置を作動させる場合は、第3図に示すように、マイクロホン3をシートベルト1におけるマジックテープ5の所定位置にマジックテープ6との結合作用にて取り付けるようになる。このことにより、運転者の口の位置近くにマイクロホン3を取り付けることができるため、音声認識装置に運転者の音声を正確に入力することができる。

第4図、第5図は本発明の第2実施例を示すもので、マイクロホン3には第4図に示すようにクリップ7が設けられており、またシートベルト1には運転者が着席した時の胸の位置に対応した所定部分（第1図に示すマジックテープ5と同様の部分）にクリップ7を止めるための係止帶8が外

側部分に設けられている。このことにより、マイクロホン3の使用時には、クリップ7を係止帶8の所定位置に取り付けて音声入力を行なうことができる。また、シートベルト1の外側部分に設けた係止帶8にマイクロホン3が取り付けられるため、それによって運転者の胸を圧迫することができない。

なお、上記実施例では運転者に対するシートベルトの装着について述べたが、助手席等の他の乗員に対するシートベルトの装着について適用してもよい。

また、マイクロホン3は音声認識装置以外にトランシーバー等に用いられるものであってもよい。

以上述べたように本発明では、乗員に装着されるシートベルトの所定位置にてマイクロホンを着脱自在に取付可能としているから、乗員の口の位置近くにマイクロホンを取り付けて、近距離による十分な音声入力をを行なうことができるという挙れた効果がある。

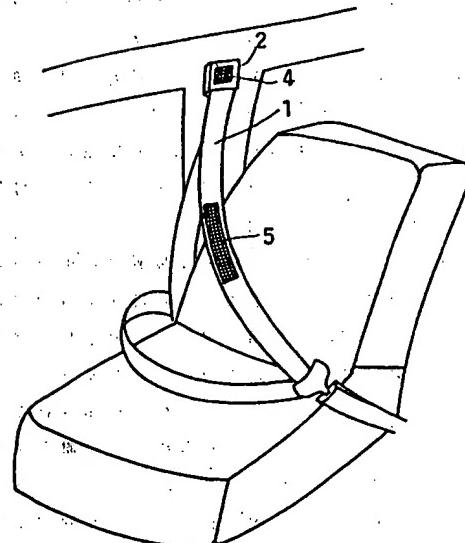
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はシートベルトの装着状態を示す図、第2図はマイクロホンの斜視図、第3図はマイクロホンの取付状態を示す図、第4図、第5図は本発明の他の実施例を示す図である。

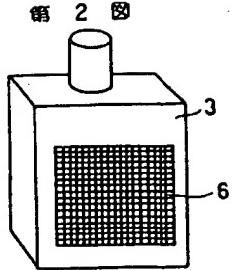
1…シートベルト、3…マイクロホン、4、5、6…マジックテープ

代理人弁理士 岡 部 一 陸

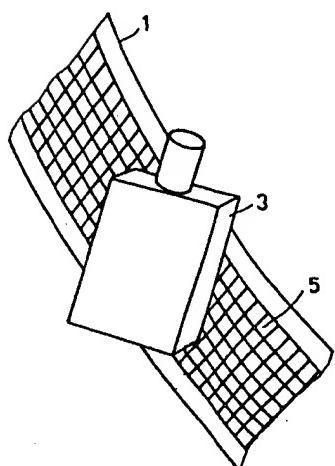
第1図



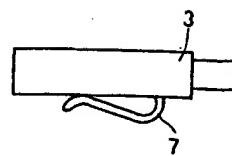
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

